

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4年 6月29日

事業所名 きらきら星

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者の特性に合った過ごし方ができるよう部屋を分け使用している。必要に応じて衝立を利用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、利用者の特性に合った配慮が適切になされているか	○			危険な箇所に保護材、テープ等を貼付したり、注意喚起してもらえるよう文字表記等を提示している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			引続き全指導員にて行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			コロナ禍の為、研修会自体が減少してしまった。リモートで開催された場合は積極的に参加した。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所独自の書式を使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			翌月の活動予定は、内容等を全員で話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			特性や発達に配慮した療育を意識し、常に新しいものを取り入れるよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休業日に、普段行えない調理等を実施しているが、コロナの為行動範囲に制限がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			障害特性を考慮しながら組み合わせている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後には時間が取れないため、翌日活動前に必ず振り返りを行い、気づいた点等は全員が共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日誌の内容を週の支援ポイントに反映させるため、正しく記載するようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			コロナ禍の為、書面開催になったことがあった。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			新一年生の利用前に会議や電話で情報共有している。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談支援員に随時情報提供し、相談員から移行先へ情報提供している。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	利用者に他害行為があると、交流が難しい。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			研修会には他職員も積極的に参加している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		必要性を感じている。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明している。改定があった場合は書面で説明し、同意書を得ている。支援の内容は、面談の際に詳しく説明しているが、コロナ禍の為短時間でいった。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった場合は、指導員間で共有している。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母の会が解散してしまい、保護者会もコロナ禍の為行われていない。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、予定表と共に活動内容、様子を紙面で発信している。またHPにも掲載している。
	34	個人情報に十分注意しているか	○			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍の為行事を開催できなかった。

非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	部分的に作成・掲示し、保護者、職員に周知しているが、全てを網羅したものは未作成。必要な時にその都度周知している。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	コロナで研修自体が中止になったり、研修日程が活動時間と重なることが多い。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束を行わないことを基本にしているが、身体拘束の捉え方等事業所内において基準を定める必要がある。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	今後該当する利用者には保護者を通じて指示書を提示してもらうようにする。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		